

揖斐川町立春日中学校

活動の種類 (複数回答可)	健康・安全 奉仕 国際理解・親善 その他 ()
活動の単位	全校 学年 委員会 クラブ その他 (保護者・地域)
教育課程上の 主な位置づけ	教科 道徳 特別活動 総合的な学習 児童会・生徒会活動 委員会・部活動 学校行事 その他 ()

1. 活動テーマ

ふるさと春日を愛し、自信と誇り・感謝をもって地域の一員として歩む生徒の育成

2. 学校紹介

春日中学校は、揖斐川町南西部、標高150メートルの山間に位置し、山や川など豊かな自然に囲まれている。全校生徒3名の超小規模校である。

本校生徒は、地区クリーン作戦・春日大運動会・「こいやーかすがまつり」など、地域を支える一員として力を発揮してきた。また、職場体験・職場訪問などにおいては、地域の方々からいろいろと学ばせていただいていた。

今年度は、春日中学校創立50周年であり、閉校の年となった。そこで、この機会を生かし、今まで取り組んできた活動を充実させ、更に生徒の高揚を図った。そして、50周年の会の時などに生徒が「研究テーマ」に関わって心から語ったり、これからの生活の糧としたりできるようにした。

3. 活動内容

(1) 鉢植えを地域に配る活動

生徒会が中心となって、普段お世話になっている消防署、地域振興事務所、デイサービスセンターなどの地域施設に種から育てたペチュニアの鉢植えを配った。



(2) 春日地区クリーン作戦（地域清掃活動）参加

生徒と教員がともに参加し、いつもお世話になっている校区内を、地域の方々と協力して清掃活動を行った。



(3) 春日大運動会参加

春日地区では小学校、中学校、幼稚園、地域が協力して1つの運動会をつくっている。運動会では、生徒、教師、保護者が団結して競技を行った。また、生徒と教師が協力して太鼓を演奏し、今年度は春日の自然を表現した「彩」という曲を披露した。この地域を大切に思う活動が春日地区の新たな伝統となり、小学校に受け継がれるものとなった。



(4) 東北ボランティア参加

全校で宮城県気仙沼市でのボランティアに参加し、仮設住宅の方々と交流をした。岐阜と宮城それぞれの郷土料理を一緒に作り、楽しく交流することができた。また、バルーンアート教室を開いて、生徒と子どもたちがふれあうことができた。



(5) 「こいやーかすがまつり」参加

ステージ上で、東北ボランティアの報告、太鼓演奏をおこなった。また、ブースを設け、東北ボランティアの写真パネルを展示したり、バルーンアート教室を開いたりして、地域の児童や保護者の方々と交流することができた。



(6) 創立50周年記念講演会

本校の卒業生で、スキー競技全日本学生選手権大会優勝・ぎふ清流国体準優勝の竹内瑠美さんを講師に迎え、創立50周年記念講演会を開催した。竹内さんからは、中学校時代の思い出、スキーを通して高校・大学で学んだことや海外遠征での経験を熱く語っていただいた。高い目標をもち、感謝の心で日々努力することの大切さを教えていただいた。



ここがポイント	道徳や総合的な学習の時間の指導と関わらせながら、生徒の主体的・体験的な学習になっている。地域の方との関わりを大切に、感謝や地域を大切に思う心を育てている。
ここがねらい	春日の人々と関わることで、ふるさとや地域の人々の良さに気づき、自信と誇り・感謝をもって地域の一員としての自覚を持つことができる。
効 果	さまざまな活動を通して、仲間や保護者、地域の方とかかわっていく中で、地域を思いやる心や、自分から動く精神が育まれた。
学校等のコメント	生徒は、多くの人に支えられながら豊かな心を育てている。そうした方々への感謝の気持ちを忘れないようにしたい。

担当者氏名： 日野 唯